

テレビ東京グループはCSR活動の柱として積極的に「次世代育成」に取り組んでおり、子供たちにテレビ東京の仕事を体験してもらう様々なプログラムを用意しています。



校外学習

六本木新本社で再開

本社移転作業に伴い活動を休止していた「校外学習」を六本木新本社で再開しました。テレビ東京には「見学コース」はありません。逆に言えば社内すべてが見学コース！ありのままの職場を体験してもらいます。

■ 電力消費10分の1のスタジオ

まずは第1スタジオと第2スタジオへ。新本社はスタジオやオフィスの照明を全てLED化しました。熱くならないのでエアコンの使用も激減し、番組を1本作るのに使う電力消費量は従来の10分の1に減りました。



■ アナウンサー体験などハラハラドキドキの時間

プログラムの目玉は昼のニュース『Mプラス11』の生放送。放送直前のスタジオに潜入し、アナウンサー体験をしその後、放送の司令塔であるサブコントロールルームで番組が進行していく様子を目撃します。また重さ約10キロのカメラも担いでみます。ハラハラドキドキの体験がいっぱい。それがテレビ東京の校外学習です。



文科省から3年連続で表彰

こうした活動は子供たちの職業観の醸成に役立つとともに未来を生きる力を育み、ひいては経済の活性化や社会の持続性にもつながると考えています。地道な活動が評価され、文部科学省の主催する「青少年の体験活動推進企業表彰」で「審査委員会奨励賞」を3年連続で受賞することができました。



キャリア大学

大学生が選ぶ「日本一の授業」に選ばれました

約3万人の大学生のアンケートによって決定する「キャリア大学アワード2017～学生が選ぶ日本一の授業」。2017年度、テレビ東京の授業「報道と制作の現場を体験する」が総合部門で最優秀賞に選ばれました。「キャリア大学」は、大学1、2年生が将来を考えるための授業を開講するもので、日本を牽引する官庁や金融、マスコミなど約40団体が協賛しています。

